

現場説明書

作業名 令和8年度 第1号 下北森林管理署
収獲調査委託（老部外3地区）
令和8年度 第2号 下北森林管理署
収獲調査委託（田名部外6地区）

作業場所 1号 青森県下北郡東通村大字白糠
字入込山国有林351に3林小班外
2号 青森県むつ市大字大湊
字釜臥山国有林25と1林小班外

下北森林管理署

事業実行における説明事項

1. 調査数量等

調査箇所及び調査数量等については、別紙「収穫調査委託箇所の概要」による。

2. 支給材料及び貸与品について

調査に必要な材料の一部については、当署において支給するので、仕様書等に基づき適正な管理に努めること。

なお、材料（貸与品）及び数量は別紙によるが、やむをえない事情の場合のみ追加を認める。

3. 国有林地理情報システムの借受けについて

契約締結後は、申請により国有林地理情報システムの地図データ（シェープファイル）、衛星画像の借受けが可能です。

地図情報等の借受け後は責任を持って適正に管理すること。

4. 国有林野情報管理システムの使用について

収穫調査復命書情報入出力は、受託者が保有するパソコンから、仮想デスクトップ及び国有林野情報管理システムにより行っていただきますが、両者の使用には利用申請が必要になります。

なお、収穫調査復命書作成に係る作業場所及び作業に当たり必要となる設備、備品及び消耗品等については、受託者の負担において用意すること。

5. 調査箇所の境界について

収穫調査箇所と隣接する民有地や小班等の境界に疑義が生じた場合は、すみやかに監督員の指示を仰ぐこと。

6. 林況調査等について

収穫調査箇所は、林内を十分踏査して林分状況に即した標準地を設定し、必要に応じて適切に林相区画や除外地の設定を行い、より精度の高い調査を行うこと。

伐採率及び予定調査材積は目安であり、保安林指定施業要件など法令等に定められた範囲において、現実林分に即して調査すること。

調査内容の変更等協議すべき事項が発生した場合は、所定の様式により書面で協議を

行い、当該変更等があった調査箇所毎の収穫調査復命書にその裏付けとして「指示・協議願書」と「指示通知書」の写しを添付すること。

7. その他

公告に示す契約期限は、納入期限ではなく、あくまでも契約期限であり、現地検査に合格して精算協定を締結し、又は、変更契約を締結して現地検査に合格するまでの期限であることに留意すること。このことを踏まえ、調査が終了した箇所については、全ての箇所の調査終了を待たずに収穫調査復命書を提出すること。

現場説明に対する質問回答書

現場説明に対する質問事項	質問事項に対する回答

特記仕様書(GNSS 受信機を用いた測量について)

この特記仕様書は、測量方法に「GNSS 又はコンパス」と指定された調査箇所の測量作業において適用する。

1. 測量方法について

測量方法に「GNSS 又はコンパス」と指定された調査箇所においては、GNSS 受信機を用いて測量することを基本とするが、受注者の判断によりコンパスを使用することも可とする。

2. 使用する GNSS 受信機について

東北森林管理局国有林野産物収穫調査規程運用6第5項に定める方法が実施可能な機種を使用すること。

3. 精度の検証について

GNSS 受信機を使用する際には、作業前に受信精度の確認を行い、PDOP 値が安定的に4以下を維持できない可能性がある場合には、その他の測量手法を検討すること。

4. 提出物について

測量結果は別紙「測量野帳(GNSS 測量用)」に取りまとめるとともに、実測原図及び実測位置図等に反映すること。

また、GNSS 受信機で取得した電子データについては、事前にウイルスチェックを行ったうえで、電子メール等で提出すること。

5. 変更契約について

受注者の判断によりコンパス測量を行ったものについては、原則として変更契約の対象としないが、第3条の精度検証の結果に基づき GNSS 以外の測量方法を選択した場合や、その他の理由により GNSS 受信機を使用することが適当でないと判断される場合には、監督職員と協議のうえ変更することができる。

6. その他

この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じ監督職員と協議のうえ決定すること。

測 量 野 帳 (GNSS測量用)

No.

使用機種： 面積 (ha)： 国有林 林班 小班
 測地系： 外周 (m)： 調査年月日 年 月 日
 座標系： 調査員

測点 番号	座標値				測定 回数	PDOP	衛星数	方位角 (度)	水平距離 (m)	備 考
	緯度	経度	X	Y						
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
0										
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
0										
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
0										

※1 座標値の表記は小数点第1位以上とし、機器の測定可能な限り詳細に記載すること。

※2 表は必要に応じて修正することを可とするが、座標値、測定回数、PDOP値及び衛星数の記載は必須とする。

特記仕様書(地上型3Dレーザスキャナを用いた標準地調査について)

この特記仕様書は、調査方法に「標準地(簡標又は3Dレーザ)」と指定された調査箇所において、受託者が地上型3Dレーザにて調査を行うことを選択した場合に適用する。

1. 調査方法について

受託者は、調査方法に「標準地(簡標又は3Dレーザ)」と指定された調査箇所において、従来手法又は地上型3Dレーザのいずれかの方法を選択するものとする。

地上型3Dレーザを選択した場合の具体的な調査方法等については、契約後に手交する「地上型3Dレーザを活用した収穫調査実施手順(標準地プロット調査)」(以下、手順書)に沿って実施すること。

2. 使用する機器等について

計測装置及び計測データ解析ソフトウェア等については、以下の規格を満たすものを受託者自身で調達して使用すること。なお、やむを得ず規格外の機器等を使用する場合は、事前に監督職員と協議すること。

(計測装置)

- ① 最大スキャン速度: 43,200 点/秒以上
- ② 立木の検出範囲: 15m以上
- ③ レーザの種類: クラス1
- ④ スキャニング角度: 垂直 270 度以上、水平 180 度以上
- ⑤ その他: GPS 搭載、バッテリー稼働、カラー画像化システム
- ⑥ 記録媒体: 外付け USB メモリ

(計測データ解析ソフトウェア)

- ① 次の計測集計解析が可能であること
(1) 胸高直径 (2) 樹高 (3) 立木本数 (4) 材積 (5) 立木位置図データ
- ② 計測データ解析ソフトウェアは最新のバージョンであること。

(動作環境(PC))

- ① オペレーティングシステム: Windows 10、11(64ビット)
- ② NET Framework: 4.7.2 以上
- ③ プロセッサ(CPU): Intel Core i5 (Intel Core i7 推奨) 以上
- ④ メインメモリ: 8GB 以上
- ⑤ 記憶装置: 5GB 以上の空き容量がある HDD (SSD を推奨)
- ⑥ ディスプレイ: SXGA (1280 × 1024) 以上推奨
- ⑦ USB ポート: 空き USB ポート 1 つ以上

3. 標準地の標示について

標準地は立木に青色スプレー又は青テープで標示するとともに、四隅の立木に収測番号札(白色)を貼ること。また、3Dレーザの計測地点には仮杭を設置し、杭の頭にテープを巻いて計測番号を記入すること。

4. 樹高の補正について

地上型3Dレーザスキャナにより解析した樹高データと実際の樹高に2メートル以上の差異が認めら

れる場合には、計測データ解析ソフトウェアを用いた樹高補正(手順書参照)を行うこと。また、樹高補正を行った立木はテープ等で標示すること。

5. 提出資料について

通常の収穫調査に必要な資料のほか、標準地の面積を表示した「立木配置図」(手順書参照)に「全立木リスト」(計測データ解析ソフトウェアから出力)を添付し、復命書の付属資料として提出すること。

なお、標準地の測量は基本的に地上型3Dレーザスキャナで行うこととし、この場合、標準地に係る測量野帳及び実測原図は不要とする。

6. 計測データの提出について

地上型3Dレーザスキャナで計測したデータについては、事前にウイルスチェックを行ったうえで、大容量ファイル転送サービスで提出すること。なお、アップロードリンクは森林管理(支)署から発行する。

7. 完成検査について

完成検査は立木配置図及び全立木リストを用いて、本数、樹種、品質区分について審査を行い、原調査と現地審査に、本数比で10%以上の差異が生じる場合は再調査とする。なお、直径、樹高及び材積については審査の対象としないが、樹高補正の適否については審査対象とする。

その他の審査事項及び再調査の基準については、「東北森林管理局国有林野産物収穫調査の現地審査要領」のとおりとする。

8. 変更契約について

調査方法に従来手法又は地上型3Dレーザのいずれを選択した場合であっても、契約金額は変更しない。

また、調査方法に従来手法が指定されている箇所において、受託者が現地判断により地上型3Dレーザを使用して調査を行う場合であっても、変更契約の対象としない。ただし、この場合、調査方法の変更について、事前に監督職員と協議すること。

9. その他

この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じ監督職員と協議のうえ決定すること。

収穫調査委託箇所の概要

番号	森林事務所	林名区分	国有林名等	林小班	機能類型	施業群	人天別	林齢	代表樹種	林地傾斜	下層植生	伐採方法	伐採率(%)	調査方法	調査区域積(ha)	立木調査積(ha)	調査材積(m ³)	区域標示距離(km)	通勤距離(km)	歩行時間(分)	押印の要否	搬出関係調査の要否	更新調査の要否	蓄積把握の要否	実測作業の要否	コンパス実測距離(km)	GNSS又はコンパス計測距離(km)	法令関係	その他	標準地設定箇所数	林道通行状況	立製別
1	老部	分取造林	入込山	351に3	水源涵養タイプ	設定外(分取林等)	人工林	56	スギ	中	中	皆伐	100	直径毎木	8.78	8.78	2,309	1.90	29	15	要	要	否	否	要	1.90		分取造林		国道338号	立木販売	
2	老部	分取造林	大平滝	383り11	水源涵養タイプ	設定外(分取林等)	人工林	24	スギ	緩	密	定間(簡標)	33	標準地(簡標)	5.01	0.26	21	1.39	21	7	否	要	否	否	要	0.46		分取造林	5	渡場沢林道	立木販売	
3	老部	分取造林	川代山	437ろ1	水源涵養タイプ	設定外(分取林等)	人工林	49	スギ	中	中	皆伐	100	標準地(簡標)	6.03	0.31	1,577	1.63	18	4	要	要	否	否	要	1.63		分取造林	6	沢川林道	立木販売	
4	老部	分取造林	畑沢野	662に2	水源涵養タイプ	設定外(分取林等)	人工林	72	スギ	中	疎	皆伐	100	標準地(簡標)	7.38	0.37	2,023	2.00	20	9	要	要	否	否	要	2.00		分取造林	7	畑沢野林道	立木販売	
5	西川内	分取造林	福浦山	805へ	水源涵養タイプ	設定外(分取林等)	人工林	45	スギ	中	中	皆伐	100	直径毎木	3.29	3.29	898	0.96	40	10	要	要	否	否	要	0.96		分取造林		荒川林道	立木販売	
6	西川内	分取造林	福浦山	805と	水源涵養タイプ	設定外(分取林等)	人工林	44	スギ	中	密	皆伐	100	直径毎木	2.61	2.61	743	0.68	40	10	要	要	否	否	要	0.68		分取造林		荒川林道	立木販売	
7	脇野沢	分取造林	源藤城	967は	水源涵養タイプ	設定外(分取林等)	人工林	41	ヒバ	中	密	定間(簡標)	24	標準地(簡標)	3.08	0.16	292	1.37	47	6	否	要	否	否	要	0.28		分取造林	民地隣接	3	瀬野沢林道	立木販売
8	老部	国有林	入込山	359ろ3	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	54	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	5.65	0.12	631	1.45	28	8	否	否	否	否	要	0.20			2	上ソコベ沢第1支線	製品資材	
9	老部	国有林	入込山	360に2	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	59	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	2.25	0.00	277	0.97	29	1	否	否	否	否	要	0.00			1	上ソコベ沢林道	製品資材	
10	老部	国有林	入込山	360に1	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	48	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.42	0.07	320	1.13	29	1	否	否	否	否	要	0.11			1	上ソコベ沢林道	製品資材	
11	老部	国有林	入込山	360に1	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	48	スギ	急	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.05	0.07	283	0.83	28	6	否	否	否	否	要	0.11			1	上ソコベ沢第1支線	製品資材	
12	老部	国有林	入込山	360に2	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	48	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	6.10	0.13	566	1.88	28	1	否	否	否	否	要	0.20			2	上ソコベ沢林道	製品資材	
13	老部	国有林	入込山	361に1	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	49	スギ	緩	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.29	0.07	303	0.88	31	1	否	否	否	否	要	0.11			1	小沼沢林道	製品資材	
14	老部	国有林	入込山	361に2	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	46	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.98	0.05	176	0.76	31	6	否	否	否	否	要	0.09			1	小沼沢林道	製品資材	
15	老部	国有林	入込山	361に3	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	46	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.86	0.05	172	0.77	31	1	否	否	否	否	要	0.09			1	小沼沢林道	製品資材	
16	老部	国有林	入込山	361に4	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	46	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	6.82	0.14	460	1.87	29	5	否	否	否	否	要	0.21			2	上ソコベ沢林道	製品資材	
17	老部	国有林	入込山	361に5	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	47	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.90	0.08	368	1.12	29	8	否	否	否	否	要	0.11			1	上ソコベ沢林道	製品資材	
18	老部	国有林	入込山	361に6	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	46	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.90	0.00	368	1.01	30	4	否	否	否	否	要	0.00			1	上ソコベ沢林道第2支線	製品資材	
19	老部	国有林	入込山	361に7	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	47	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	5.98	0.12	386	1.43	30	4	否	否	否	否	要	0.20			2	上ソコベ沢林道	製品資材	
20	老部	国有林	入込山	361に8	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	47	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.91	0.00	172	0.66	30	4	否	否	否	否	要	0.00			1	上ソコベ沢林道	製品資材	
21	老部	国有林	入込山	361に9	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	46	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	4.96	0.00	460	1.27	30	1	否	否	否	否	要	0.00			1	上ソコベ沢林道	製品資材	
22	老部	国有林	入込山	361に10	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	44	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	4.49	0.09	450	1.19	32	3	否	否	否	否	要	0.12			1	向ナベ川林道	製品資材	
23	老部	国有林	入込山	361に11	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	46	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.10	0.00	302	0.94	31	1	否	否	否	否	要	0.00			1	向ナベ川林道	製品資材	
24	老部	国有林	入込山	362に1	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ長伐期	人工林	52	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	2.68	0.06	260	0.94	31	1	否	否	否	否	要	0.10			1	下ソコベ沢林道	製品資材	
25	老部	国有林	入込山	362に2	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ長伐期	人工林	51	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.81	0.00	370	1.05	32	2	否	否	否	否	要	0.00			1	下ソコベ沢林道	製品資材	
26	老部	国有林	入込山	362に3	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ長伐期	人工林	51	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	2.97	0.00	363	0.72	32	3	否	否	否	否	要	0.00			1	下ソコベ沢林道	製品資材	
27	老部	国有林	入込山	362に4	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ長伐期	人工林	51	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	5.73	0.12	396	1.35	32	5	否	否	否	否	要	0.20			2	下ソコベ沢林道	製品資材	
28	老部	国有林	入込山	362に5	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ長伐期	人工林	51	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.77	0.08	367	1.11	32	11	否	否	否	否	要	0.11			1	下ソコベ沢林道	製品資材	
29	老部	国有林	入込山	362に6	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ長伐期	人工林	46	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	8.72	0.00	588	1.83	31	5	否	否	否	否	要	0.00			1	下ソコベ沢林道	製品資材	
30	老部	国有林	入込山	362に7	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ長伐期	人工林	46	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	2.56	0.00	242	0.71	31	2	否	否	否	否	要	0.00			1	下ソコベ沢林道	製品資材	
31	老部	国有林	入込山	362ろ1	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ長伐期	人工林	47	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.62	0.00	333	0.95	32	8	否	否	否	否	要	0.00			1	下ソコベ沢林道	製品資材	
32	老部	国有林	入込山	362ろ2	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ長伐期	人工林	45	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	4.02	0.00	382	1.01	31	11	否	否	否	否	要	0.00			1	下ソコベ沢林道	製品資材	
33	老部	国有林	入込山	362ろ3	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ長伐期	人工林	45	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	5.04	0.11	347	1.20	31	1	否	否	否	否	要	0.19			2	下ソコベ沢林道	製品資材	
34	老部	国有林	入込山	362ろ4	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ長伐期	人工林	44	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.61	0.05	162	0.67	31	3	否	否	否	否	要	0.09			1	上ソコベ沢林道	製品資材	
35	老部	国有林	入込山	363に1	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	50	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	6.05	0.13	415	1.59	31	5	否	否	否	否	要	0.20			2	上ソコベ沢林道	製品資材	
36	老部	国有林	入込山	363に2	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ長伐期	人工林	50	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	6.31	0.13	444	1.43	33	5	否	否	否	否	要	0.20			2	下ソコベ沢林道	製品資材	
37	老部	国有林	入込山	363に3	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	50	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	7.04	0.00	493	1.40	33	5	否	否	否	否	要	0.00			1	下ソコベ沢林道	製品資材	
38	老部	国有林	入込山	363に4	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	50	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.89	0.05	238	0.67	33	3	否	否	否	否	要	0.09			1	下ソコベ沢林道	製品資材	
39	老部	国有林	入込山	363に5	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	49	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	2.63	0.06	224	1.16	33	3	否	否	否	否	要	0.10			1	下ソコベ沢林道	製品資材	
40	老部	国有林	入込山	363に6	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	49	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	5.30	0.11	342	1.49	33	6	否	否	否	否	要	0.19			2	下ソコベ沢林道	製品資材	
41	老部	国有林	入込山	363に7	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	51	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.55	0.08	338	1.46	34	1	否	否	否	否	要	0.11			1	下ソコベ沢林道	製品資材	
42	老部	国有林	入込山	363に8	水源涵養タイプ	広葉樹択伐	天然林	107	広葉樹	急	疎	天然林択伐	30	精密毎木	18.07	18.07	1,267	4.52	33	5	否	否	否	否	要	0.00			1	下ソコベ沢林道	製品資材	
43	老部	国有林	入込山	363に9	水源涵養タイプ	広葉樹択伐	天然林	107	広葉樹	急	疎	天然林択伐	30	精密毎木	5.05	5.05	394	1.00	32	3	否	否	否	否	要	0.20			2	下ソコベ沢林道	製品資材	
44	老部	国有林	入込山	363と1	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	20	スギ	緩	密	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	5.84	0.12	133	1.48	31	3	否	否	否	否	要	0.20			2	下ソコベ沢林道	製品資材	
45	老部	国有林	入込山	363と2	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	50	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	6.13	0.13	419	1.96	33	4	否	否	否	否	要	0.20			2	下ソコベ沢林道	製品資材	
46	老部	国有林	入込山	363と3	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	51	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.84	0.08	364	1.86	33	1	否	否	否	否	要	0.11			1	下ソコベ沢林道	製品資材	
47	老部	国有林	入込山	363と4	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	33	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.43	0.05	33	0.40	33	4	否	否	否	否	要	0.09			1	下ソコベ沢林道	製品資材	
48	老部	国有林	入込山	364に1	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	39	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.33	0.05	29	0.29	32	5	否	否	否	否	要	0.09			1	向ナベ川林道	製品資材	
49	老部	国有林	入込山	364に2	水源涵養タイプ	スギ・カツマツ等	人工林	24	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準																		

収獲調査委託箇所の概要

番号	森林事務所	林区区分	国有林名等	林小班	機能類型	施業群	人天別	林齢	代表樹種	林地傾斜	下層植生	伐採方法	伐採率(%)	調査方法	調査区域積(ha)	立木調査積(ha)	調査材積(m ³)	区域標示距離(km)	通勤距離(km)	歩行時間(分)	押印の要否	搬出関係調査の要否	更新関係調査の要否	蓄積把握の要否	実作業の要否	コンパス実測距離(km)	GNSS又はコンパス計測距離(km)	法令関係	その他	標準地設定箇所数	林道通行状況	立製別
81	東川内	国有林	高野山	7021E4	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	57	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	16.14	0.33	405	2.99	33	12	否	否	否	否	要	0.56			6	高野川林道終点	製品資材	
82	東川内	国有林	高野山	7031E3	水源涵養タイプ	広葉樹択伐	天然林	159	広葉樹	中	疎	天然林択伐	30	精密毎木	3.36	3.36	159	1.08	33	11	否	否	否	否	要				1	高野川林道	製品資材	
83	東川内	国有林	高野山	7031E4	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	51	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.27	0.05	25	0.38	28	5	否	否	否	否	要	0.09			1	高野川林道	製品資材	
84	東川内	国有林	高野山	7041E1	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	30	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.73	0.08	233	1.70	31	9	否	否	否	否	要	0.11			1	上二股沢林道	製品資材	
85	東川内	国有林	高野山	7041E2	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	33	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	2.43	0.05	175	0.99	31	3	否	否	否	否	要	0.09			1	上二股沢林道	製品資材	
86	東川内	国有林	高野山	7041E3	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	34	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.47	0.00	256	1.70	31	1	否	否	否	否	要	0.00					上二股沢林道	製品資材
87	東川内	国有林	高野山	7041E4	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	33	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.19	0.00	9	0.16	31	6	否	否	否	否	要	0.00					上二股沢林道	製品資材
88	東川内	国有林	高野山	7041E5	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	30	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	4.20	0.09	264	1.21	31	12	否	否	否	否	要	0.12			1	上二股沢林道	製品資材	
89	東川内	国有林	高野山	7041E6	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	30	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	2.97	0.06	187	0.91	32	12	否	否	否	否	要	0.10			1	上二股沢林道	製品資材	
90	東川内	国有林	高野山	7041E7	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	47	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	6.22	0.00	569	2.01	31	8	否	否	否	否	要	0.00					上二股沢林道	製品資材
91	東川内	国有林	高野山	7041E8	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	47	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	2.23	0.05	208	1.10	31	1	否	否	否	否	要	0.09			1	上二股沢林道	製品資材	
92	東川内	国有林	高野山	7041E9	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	28	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.62	0.05	196	0.54	30	3	否	否	否	否	要	0.09			1	上二股沢林道	製品資材	
93	東川内	国有林	高野山	7041E10	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	44	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.41	0.05	37	0.52	30	1	否	否	否	否	要	0.09			1	上二股沢林道	製品資材	
94	東川内	国有林	高野山	7041E11	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	31	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	2.69	0.06	177	1.08	31	5	否	否	否	否	要	0.10			1	上二股沢林道	製品資材	
95	東川内	国有林	高野山	7041E12	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	36	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	4.38	0.09	352	2.10	32	4	否	否	否	否	要	0.12			1	高野川林道	製品資材	
96	東川内	国有林	高野山	7041E13	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	34	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.96	0.00	154	0.82	31	2	否	否	否	否	要	0.00					高野川林道	製品資材
97	東川内	国有林	高野山	7041E14	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	22	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.58	0.05	22	0.55	33	12	否	否	否	否	要	0.09			1	高野川林道	製品資材	
98	東川内	国有林	高野山	7051E1	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	34	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.93	0.05	141	0.60	32	1	否	否	否	否	要	0.09			1	高野川林道	製品資材	
99	東川内	国有林	高野山	7051E2	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	35	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.74	0.00	287	1.11	32	1	否	否	否	否	要	0.00					高野川林道	製品資材
100	東川内	国有林	高野山	7051E3	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	35	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.14	0.05	88	0.54	32	1	否	否	否	否	要	0.09			1	高野川林道	製品資材	
101	東川内	国有林	高野山	7051E4	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	31	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.07	0.07	204	1.19	33	8	否	否	否	否	要	0.11			1	高野川林道	製品資材	
102	東川内	国有林	高野山	7051E5	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	35	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.62	0.00	126	0.79	32	3	否	否	否	否	要	0.00					高野川林道	製品資材
103	東川内	国有林	高野山	7051E6	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	34	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.16	0.00	233	1.24	33	7	否	否	否	否	要	0.00					高野川林道	製品資材
104	東川内	国有林	高野山	7051E7	水源涵養タイプ	スギ・アカマツ等	人工林	73	スギ	中	疎	天然林択伐	30	精密毎木	0.90	0.05	72	0.45	33	11	否	否	否	否	要	0.09			1	高野川林道	製品資材	
105	東川内	国有林	高野山	7051E8	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	天然林	174	広葉樹	中	疎	天然林択伐	30	精密毎木	1.90	1.90	115	0.84	33	1	否	否	否	否	要						高野川林道	製品資材
106	東川内	国有林	高野山	7171E1	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	55	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	6.39	0.13	324	2.00	35	3	否	否	否	否	要	0.20			2	阿部城林道	製品資材	
107	東川内	国有林	高野山	7171E2	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	55	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	7.46	0.00	376	1.65	36	4	否	否	否	否	要	0.00					阿部城林道	製品資材
108	東川内	国有林	高野山	7171E3	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	54	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	7.82	0.00	531	1.85	36	9	否	否	否	否	要	0.00					阿部城林道	製品資材
109	東川内	国有林	高野山	7171E4	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	54	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	11.56	0.00	774	1.97	36	15	否	否	否	否	要	0.00					阿部城林道	製品資材
110	東川内	国有林	高野山	7171E5	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	55	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	11.28	0.00	774	1.74	35	13	否	否	否	否	要	0.00					阿部城林道	製品資材
111	東川内	国有林	高野山	7171E6	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	56	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	15.65	0.00	1,040	2.76	35	9	否	否	否	否	要	0.00					阿部城林道	製品資材
112	東川内	国有林	高野山	7171E7	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	56	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	1.16	0.05	99	0.64	34	3	否	否	否	否	要	0.09			1	阿部城林道	製品資材	
113	東川内	国有林	高野山	7171E8	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	93	スギ	中	疎	皆伐	100	標準地(簡標)	1.28	0.05	552	0.66	36	8	否	否	否	否	要	0.09	0.57			1	阿部城林道	製品資材
114	東川内	国有林	高野山	7171E9	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	93	スギ	中	疎	皆伐	100	標準地(簡標)	2.40	0.05	1,069	1.10	36	4	否	否	否	否	要	0.09	0.90			1	阿部城林道	製品資材
115	東川内	国有林	高野山	7171E10	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	55	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	8.01	0.17	537	2.04	36	11	否	否	否	否	要	0.29			3	阿部城林道	製品資材	
116	東川内	国有林	高野山	7171E11	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	56	スギ	中	中	定間(簡標)	30	標準地(簡標)	1.47	0.05	113	0.60	34	4	否	否	否	否	要	0.09			1	阿部城林道	製品資材	
117	東川内	国有林	高野山	7171E12	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	86	カラマツ	中	疎	複層伐(天)	50	標準地(簡標)	2.44	0.05	211	1.01	34	4	否	否	否	否	要	0.09					阿部城林道	製品資材
118	東川内	国有林	高野山	7171E13	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	56	アカマツ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	3.18	0.07	267	1.24	34	4	否	否	否	否	要	0.11			1	阿部城林道	製品資材	
119	東川内	国有林	高野山	7171E14	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	45	スギ	中	中	定間(簡標)	30	標準地(簡標)	3.72	0.08	309	1.57	34	2	否	否	否	否	要	0.11			1	阿部城林道	製品資材	
120	東川内	国有林	高野山	7171E15	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	93	アカマツ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.48	0.05	46	0.33	33	1	否	否	否	否	要	0.09			1	阿部城林道	製品資材	
121	東川内	国有林	高野山	7171E16	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	93	アカマツ	中	疎	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	0.60	0.05	63	0.29	33	7	否	否	否	否	要	0.09			1	阿部城林道	製品資材	
122	東川内	国有林	高野山	7171E17	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	56	スギ	中	中	定間(簡標)	30	標準地(簡標)	2.19	0.05	181	1.24	34	5	否	否	否	否	要	0.09			1	阿部城林道	製品資材	
123	東川内	国有林	高野山	7171E18	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	天然林	214	広葉樹	中	疎	天然林択伐	30	精密毎木	15.01	15.01	731	8.10	36	12	否	否	否	否	要						阿部城林道	製品資材
124	東川内	国有林	高野山	7191E1	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	54	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	14.12	0.29	956	3.73	37	1	否	否	否	否	要	0.48			5	阿部城林道	製品資材	
125	東川内	国有林	高野山	7191E2	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	55	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	8.25	0.00	554	2.17	36	3	否	否	否	否	要	0.00					阿部城林道	製品資材
126	東川内	国有林	高野山	7191E3	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	56	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	12.63	0.00	835	2.95	35	4	否	否	否	否	要	0.00					阿部城林道	製品資材
127	東川内	国有林	高野山	7191E4	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	56	スギ	中	中	定間(簡標)	30	標準地(簡標)	3.74	0.08	306	1.06	35	4	否	否	否	否	要	0.11			1	阿部城林道	製品資材	
128	東川内	国有林	高野山	7191E5	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	86	カラマツ	中	疎	複層伐(天)	50	標準地(簡標)	1.40	0.05	122	0.64	34	4	否	否	否	否	要	0.09			1	阿部城林道	製品資材	
129	東川内																															

収穫調査委託箇所の概要

番号	森林事務所	林区分	国有林名等	林小班	機能類型	施業群	人別	林齢	代表樹種	林地傾斜	下層植生	伐採方法	伐採率(%)	調査方法	調査区域積(ha)	立木調査積(ha)	調査材積(m ³)	区域標示距離(km)	通距離(km)	歩行時間(分)	押印の要否	搬出調査の要否	更新調査の要否	蓄積の要否	実作業の要否	コンパス実測距離(km)	GNSS又はコンパス計測距離(km)	法令関係	その他	標準地設箇所数	林道通行状況	立製別
1	田名部	分取造林	釜臥山	25と1	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	49	スギ	中	密	皆伐	100	直径毎木	3.23	3.23	818	0.80	6	3	要	要	否	否	要	0.80		水涵保、分取造林	民地隣接	-	国道338号	立木販売
2	出戸	分取造林	南間根第1	163と2	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	32	スギ	中	密	定間(簡標)	25	標準地(簡標)	1.00	0.05	49	0.50	16	2	否	要	否	否	要	0.09		分取造林		1	大宮沢林道	立木販売
3	出戸	分取造林	南間根第1	166は8	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	22	スギ	中	密	定間(簡標)	25	標準地(簡標)	1.31	0.07	37	0.65	16	4	否	要	否	否	要	0.11		分取造林		1	大宮沢林道	立木販売
4	東涌	分取造林	大平滝	50ち9	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	37	スギ	中	密	定間(簡標)	15	標準地(簡標)	1.26	0.07	103	0.76	14	19	否	要	否	否	要	0.11		分取造林		1	アオペラ支線起点	立木販売
5	東涌	分取造林	野牛第2	177と2	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	60	スギ	緩	皆伐	100	標準地(簡標)	17.66	0.89	3,334	3.73	17	11	要	要	否	否	要	1.56		分取造林		17	野牛分岐	立木販売	
6	大畑	分取造林	朝比奈岳	1033と	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	71	スギ	中	疎	皆伐	100	標準地(簡標)	3.92	0.20	2,101	1.32	28	11	要	要	否	否	要	1.32		分取造林		4	上小目沢林道	立木販売
7	大畑	分取造林	朝比奈岳	1033と2	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	44	スギ	中	密	皆伐	100	標準地(簡標)	1.33	0.70	388	0.62	28	7	要	要	否	否	要	0.62		分取造林		1	上小目沢林道	立木販売
8	易国間	分取造林	八森山	2048は	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	54	スギ	中	中	皆伐	100	直径毎木	4.19	4.19	1,416	0.96	45	10	要	要	否	否	要	0.96		分取造林		1	徳利沢林道	立木販売
9	易国間	分取造林	八森山	2049と	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	55	スギ	中	中	皆伐	100	直径毎木	7.12	7.12	2,248	2.11	45	10	要	要	否	否	要	2.11		分取造林		1	徳利沢林道	立木販売
10	易国間	分取造林	八森山	2067は2	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	55	スギ	中	中	皆伐	100	精密毎木	0.41	0.41	140	0.32	45	10	要	要	否	否	要	0.32		分取造林		1	小川目林道	立木販売
11	易国間	分取造林	八森山	2067は3	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	54	広葉樹	中	中	皆伐	100	直径毎木	14.62	14.62	3,061	2.07	45	10	要	要	否	否	要	2.07		分取造林		1	鱒掛林道	立木販売
12	易国間	分取造林	八森山	2067は4	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	55	スギ	中	中	皆伐	100	精密毎木	0.22	0.22	79	0.29	45	10	要	要	否	否	要	0.29		分取造林		1	小川目林道	立木販売
13	易国間	分取造林	佐久間	2074と2	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	54	スギ	中	中	皆伐	100	直径毎木	2.28	2.28	689	0.69	45	10	要	要	否	否	要	0.69		分取造林		1	釜の沢林道	立木販売
14	易国間	分取造林	佐久間	2074と3	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	53	スギ	中	中	皆伐	100	直径毎木	4.17	4.17	1,013	1.02	45	10	要	要	否	否	要	1.02		分取造林		1	釜の沢林道	立木販売
15	佐井	分取造林	古佐井山	2240は	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	55	スギ	中	中	皆伐	100	直径毎木	20.59	20.59	7,599	2.19	65	10	要	要	否	否	要	2.19		分取造林		1	原田川林道	立木販売
16	佐井	分取造林	古佐井山	2240と	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	56	スギ	中	中	皆伐	100	直径毎木	19.45	19.45	7,183	2.22	65	10	要	要	否	否	要	2.22		分取造林		1	原田川林道	立木販売
17	佐井	分取造林	古佐井山	2240は	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	55	スギ	中	中	皆伐	100	直径毎木	4.90	4.90	1,110	1.07	65	10	要	要	否	否	要	1.07		分取造林		1	原田川林道	立木販売
18	佐井	分取造林	湯ノ川越	2268と2	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	44	広葉樹	緩	密	皆伐	100	直径毎木	1.59	1.59	163	0.64	65	4	要	要	否	否	要	0.64		分取造林		-	民地隣接	立木販売
19	佐井	分取造林	湯ノ川越	2282は2(A伐区)	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	58	スギ	中	中	皆伐	100	標準地(簡標)	6.25	0.32	2,183	1.78	66	5	要	要	否	否	要	1.78		分取造林		6	八右エ門沢林道起点	立木販売
20	佐井	分取造林	湯ノ川越	2282は	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	61	スギ	中	中	皆伐	100	標準地(簡標)	4.33	0.22	1,592	1.52	64	4	要	要	否	否	要	1.52		鳥保普、分取造林		4	八右エ門沢林道起点	立木販売
21	佐井	分取造林	湯ノ川越	2283は2	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	59	スギ	緩	中	皆伐	100	標準地(簡標)	0.42	0.05	514	0.45	65	11	要	要	否	否	要	0.45		分取造林		1	八右エ門沢林道起点	立木販売
22	佐井	分取造林	湯ノ川越	2283は4	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	59	スギ	緩	中	皆伐	100	精密毎木	0.45	0.45	143	0.38	64	6	要	要	否	否	要	0.38		分取造林		1	八右エ門沢林道起点	立木販売
23	佐井	分取造林	湯ノ川越	2283は1	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	74	スギ	緩	疎	皆伐	100	直径毎木	8.55	8.55	7,085	1.56	64	4	要	要	否	否	要	1.56		鳥保普、分取造林		-	民地、分取林隣接	立木販売
24	佐井	分取造林	湯ノ川越	2283は2	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	74	スギ	緩	疎	皆伐	100	直径毎木	0.67	0.67	626	0.38	63	2	要	要	否	否	要	0.38		鳥保普、分取造林		-	八右エ門沢林道起点	立木販売
25	佐井	分取造林	湯ノ川越	2283は3	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	74	スギ	緩	疎	皆伐	100	直径毎木	0.82	0.82	905	3.62	63	3	要	要	否	否	要	3.62		鳥保普、分取造林		-	民地隣接	立木販売
26	佐井	分取造林	湯ノ川越	2283は	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	74	スギ	緩	疎	皆伐	100	直径毎木	6.06	6.06	2,255	1.87	64	1	要	要	否	否	要	1.87		鳥保普、分取造林		-	民地、分取林隣接	立木販売
27	佐井	分取造林	湯ノ川越	2283と3	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	23	スギ	中	密	定間(簡標)	25	標準地(簡標)	2.55	0.13	74	0.96	64	5	否	要	否	否	要	0.20		分取造林		2	八右エ門沢林道起点	立木販売
28	佐井	分取造林	湯ノ川越	2283と4	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	74	スギ	中	疎	皆伐	100	直径毎木	0.98	0.98	736	0.43	64	6	要	要	否	否	要	0.43		鳥保普、分取造林		-	分取林隣接	立木販売
29	佐井	分取造林	湯ノ川越	2283は1	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	74	スギ	平	疎	皆伐	100	直径毎木	1.50	1.50	1,342	0.86	62	1	要	要	否	否	要	0.86		鳥保普、分取造林		-	民地、分取林隣接	立木販売
30	佐井	分取造林	湯ノ川越	2283と1	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	73	スギ	緩	疎	皆伐	100	直径毎木	1.80	1.80	1,529	0.63	62	3	要	要	否	否	要	0.63		鳥保普、分取造林		-	大開橋	立木販売
31	佐井	分取造林	湯ノ川越	2283と3	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	64	スギ	緩	中	皆伐	100	直径毎木	0.97	0.97	160	0.44	66	3	要	要	否	否	要	0.44		鳥保普、分取造林		-	民地、分取林隣接	立木販売
32	佐井	分取造林	湯ノ川越	2283と5	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	64	スギ	緩	中	皆伐	100	直径毎木	0.55	0.55	603	0.35	63	6	要	要	否	否	要	0.35		鳥保普、分取造林		-	分取林隣接	立木販売
33	佐井	分取造林	湯ノ川越	2283と8	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	61	スギ	中	中	皆伐	100	標準地(簡標)	1.66	0.09	1,125	0.76	65	15	要	要	否	否	要	0.12		分取造林		1	八右エ門沢林道起点	立木販売
34	佐井	分取造林	湯ノ川越	2285に	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	61	スギ	中	中	皆伐	100	標準地(簡標)	3.84	0.20	2,510	1.52	62	13	要	要	否	否	要	0.36		分取造林		4	国道338号、佐井村役場起点	立木販売
35	佐井	分取造林	湯ノ川越	2287は2	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	74	スギ	緩	疎	皆伐	100	標準地(簡標)	1.36	0.07	1,964	0.70	68	9	要	要	否	否	要	0.11		分取造林		1	磯谷峠林道	立木販売
36	佐井	分取造林	喜平治山	2294た	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	74	スギ	緩	疎	皆伐	100	直径毎木	1.65	1.65	556	3.52	70	7	要	要	否	否	要	2.97		分取造林		1	長後川林道起点	立木販売
37	佐井	分取造林	喜平治山	2294つ	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	57	スギ	緩	中	皆伐	100	直径毎木	8.67	8.67	1,947	17.39	71	4	要	要	否	否	要	15.60		分取造林		1	長後川林道起点	立木販売
38	佐井	分取造林	鎌道石	2232と	水源涵養	設定外(分取林等)	人工林	74	スギ	緩	疎	皆伐	100	標準地(簡標)	0.40	0.05	253	0.38	59	12	要	要	否	否	要	0.38		分取造林		1	堂の上林道終点	立木販売
39	田名部	国有林	梅沢山	8は1	水源涵養	スギ・カツマツ等	人工林	37	スギ	緩	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.56	0.05	146	0.66	22	1	否	否	否	否	要	0.09		分取造林		1	小川目林道	製品資材
40	田名部	国有林	梅沢山	8は2	水源涵養	スギ・カツマツ等	人工林	37	スギ	緩	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	1.01	0.05	111	0.76	23	1	否	否	否	否	要	0.09		分取造林		1	小川目林道	製品資材
41	田名部	国有林	梅沢山	8は3	水源涵養	天然更新型複層林誘導	人工林	33	スギ	中	密	定間(簡標)	30	標準地(簡標)	0.28	0.05	17	0.31	23	2	否	否	否	否	要	0.09		分取造林		1	小川目林道	製品資材
42	田名部	国有林	梅沢山	8は4	水源涵養	天然更新型複層林誘導	人工林	33	スギ	中	密	定間(簡標)	30																			

収穫調査委託箇所概要

番号	森林事務所	林名区分	国有林名等	林小班	機能類型	施業群	人天別	林齢	代表樹種	林地傾斜	下層植生	伐採方法	伐採率(%)	調査方法	調査区域面積 (ha)	立木調査面積 (ha)	調査材積 (m ³)	区域標高 (km)	通勤距離 (km)	歩行時間 (分)	押印の要否	搬出関係調査の要否	更新関係調査の要否	蓄積の把握の要否	実作業の要否	測定の要否	コンパス実測距離 (km)	GNSS又はコンパス計測距離 (km)	法令関係	その他	標準地設定箇所数	林道通行状況	立製別	
101	栗研	国有林	二階滝	11441	水源涵養タイプ	スギ・カラマツ等	人工林	73	スギ	中	疎	皆伐	100	標準地(雙用)	0.27		102	0.27	35	4	否	否	否	否	否									
102	栗研	国有林	二階滝	1144リ	水源涵養タイプ	スギ・カラマツ等	人工林	42	スギ	中	密	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	7.65	0.16	516	1.42	34	5	否	否	否	否	要	0.28					3	近藤川林道	製品資材	
103	栗研	国有林	二階滝	1144ぬ	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	41	スギ	中	密	定間(簡標)	30	標準地(簡標)	1.30	0.05	99	0.60	35	7	否	否	否	否	要	0.09					1	近藤川林道	製品資材	
104	栗研	国有林	二階滝	1144る1	水源涵養タイプ	スギ・カラマツ等	人工林	41	スギ	中	密	列間(簡標)	25	標準地(雙用)	7.24		573	1.73	35	5	否	否	否	否	要									
105	栗研	国有林	二階滝	1144る2	水源涵養タイプ	スギ・カラマツ等	人工林	41	スギ	中	密	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	2.55	0.06	244	0.86	35	12	否	否	否	否	要	0.10					1	近藤川林道	製品資材	
106	栗研	国有林	二階滝	1144わ	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	40	スギ	中	密	定間(簡標)	30	標準地(簡標)	2.15	0.05	151	0.72	35	12	否	否	否	否	要	0.09					1	近藤川林道	製品資材	
107	栗研	国有林	二階滝	1144か	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	40	スギ	緩	密	定間(簡標)	30	標準地(簡標)	0.25	0.05	19	0.33	35	1	否	否	否	否	要	0.09					1	近藤川林道	製品資材	
108	栗研	国有林	二階滝	1144よ	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	40	スギ	中	密	定間(簡標)	30	標準地(雙用)	0.11		8	0.40	35	1	否	否	否	否	否									
109	栗研	国有林	二階滝	1147い2	水源涵養タイプ	ヒバ 択伐	天然林	159	ヒバ	中	疎	天然林択伐	9	精密毎木	31.99	31.99	653	3.48	32	14	否	否	否	要	否									
110	栗研	国有林	二階滝	1147い3	水源涵養タイプ	ヒバ 択伐	天然林	129	ヒバ	中	疎	天然林択伐	9	精密毎木	34.16	34.16	890	3.96	34	6	否	否	否	要	否									
111	栗研	国有林	二階滝	1147に	水源涵養タイプ	天然更新型複層林誘導	人工林	60	スギ	中	中	列間(簡標)	33	標準地(簡標)	7.61	0.16	940	2.04	33	1	否	否	否	否	要	0.28					3	深沢林道	製品資材	
112	栗研	国有林	二階滝	1151は	水源涵養タイプ	スギ・カラマツ長伐期	人工林	61	カラマツ	緩	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	17.55	0.36	1,090	3.38	31	5	否	否	否	否	要	0.64					6	鳥ノ沢林道	製品資材	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	503.26	251.61	85,087	156.03	—	—	—	—	—	—	—	62.95	3.00	—	—	—	—	—		

別紙

事業実行における説明事項

2. 支給材料及び貸与品について

支給する材料

物件:第1号

項目	材料	数量	備考
区域標示	収測番号札(黄)	10,000 枚	
	収測番号札(白)	800 枚	
その他	復命書整理袋	154 枚	

別紙2

事業実行における説明事項

2. 支給材料及び貸与品について

支給する材料

物件:第2号

項目	材料	数量	備考
区域標示	収測番号札(黄)	8,000 枚	
	収測番号札(白)	700 枚	
その他	復命書整理袋	112 枚	